

(埼玉女子柔道に関する情報)

令和元年8月14日(水)

親子でライバル！全日本柔道形競技大会へ ～菅 麗子・琳華 母・娘～

令和元年7月6日(土)におこなわれた全日本柔道形競技大会全国予選会「柔の形」の部。70点以上を出すことが全国出場権を得る最低ラインだった。昨年は惜しくも落選し、今回2度目の挑戦。結果は72.5点。4組中、第1位で全国出場権を一足先に決めた。

1ヶ月遅れて、8月4日(日)。神奈川県武道館でおこなわれた、関東柔道「形」競技大会。埼玉県「柔の形」推薦選手として、娘の琳華(高1)が予選を迎えた。

その日の母は、ライバルとしてではなく、娘の最大の理解者として応援席にいた。

母の応援のお陰もあり、娘は危なげなく2連覇を果たした。そこには間違いなく、柔道を通じた親子の絆と娘を支える無償の愛が確かにそこにあった。

娘は、母と同じ舞台、10月27日(日)講道館大道場にておこなわれる、全日本柔道形競技大会に、史上初、母娘そろって同日、同種目、同じ試合会場で「柔の形」を競い合うことになる。

道場の指導者として娘を指導してきた母は、反対に子どもに刺激を受け、子どもに励まされ、「形」を通じて生涯柔道の普及を進める先駆者として邁進している。形競技ならではの醍醐味だ。時代の最先端をいく母娘の物語は、まだ扉が開いたばかり。今後の活躍に期待したい。



【全国】左 取：菅 麗子 右 受：中島 恵



【関東】左 取：菅 琳華 右 受：川原 輝子



【親子で全日本へ】 左：菅 琳華 選手/右：菅 麗子 選手

埼玉県女子柔道振興委員会 川原 久乃